

産 業 建 設 常 任 委 員 会 報 告 書

会 議 日 時	令和元年 1 1 月 2 1 日 (金) 午後 3 時 ～ 午後 5 時			
会 議 場 所	○議員控室 〇委員会室 ○議会図書室 ○現地 (場所:)			
出 席 者 数	委員 5 名のうち出席者 4 名			
出 席 委 員	委 員 長	榎野 章	委 員	味元 和義
	委 員	林 健三	委 員	橋本 章央
欠 席 委 員	副委員長	武田 秀義		
事 務 局	局 長	長谷部 卓也	書 記	友永 龍二
出 席 者	農業委員会	会 長 林 幸一	農業委員会	事務局主事 池本拓矢
		窪川地域委員長 小野重明		事務局主任 宮本和也
		西部地域委員長 竹内 純	農林水産課	課 長 池上康一
		西部地域副委員長 山崎 力		副 課 長 高橋 亮
		事 務 局 長 西田尚子		副 課 長 戸田ゆかり
		事務局次長 林 和利		課 長 山本安弘
		事務局主幹 田中淳一郎	十和地域振興課	副 課 長 杉本孝成
付 議 事 件	農業委員会との意見交換会			
	議題「これからの農地、集落をどう守るか」			
	① 人・農地プランの実質化の動きについて			
	② 農業の現場、地域の実情について			
	③ その他			
審 査 ・ 調 査	農業委員会西田事務局長より概略の説明を受けて、意見交換を行う。			
	人・農地プランのアンケートの回収率は、63%と農業委員・農地利用最適化推進			
	委員にも協力いただいているが、なかなか回収出来ていない。所有者不在が原因との			
	こと。農地の集積率は窪川地域が高く、大正・十和地域は低い。新規就農者は40人			
	前後で推移しており、1,2年で就農にならない現状がある。補助や助成があっても、			
	交付期間が終了すると続かなくなる。小さな農家でも補助を受けられるようにして			
	ほしい等意見があった。大正・十和地域の営農支援センター構想を行政も地域も一つ			
	のものとして取り組む必要がある。意見交換会では、大正・十和地域営農支援センタ			
	ー設置に向けて取り組むことで一致をみた。耕作放棄地は、山林化した農地が133			

h a で、一括して非農地申請が出来たらいいが、いつまでも農地として管理は難しい

	と意見があった。		
	農家の後継者問題（婚活等）や労働力確保の対策等意見交換して終了する。		
反 対 意 見	な し		
報 告 日	令和元年11月26日（火）	委員長署名	榎野 章 